



一斉ではなく
PAZでは避難等予防的に措置を行い、
UPZでは予防的に屋内退避を行う等、
段階的な対処や避難が大事です!

該当する地域や原子力発電所施設内の状況に応じた 災害対策が組みられています。

PAZ(予防的防護措置を準備する区域)では、施設内の状況で防護措置が決まる EAL(緊急時活動レベル)

地震や津波の発生、または原子炉冷却材の漏えいや電源喪失といった事故等、緊急事態における初期対応の3つの判断基準。原子力発電所からの距離や原子力発電所施設内の状況によって、段階的な防護措置が実施されます。



空間放射線量が基準値以上の地域を特定して、該当地域が決定!!

原子力発電所に近い地域の人から、先に避難する!

UPZでは、OIL(空間放射線量の測定結果等)により避難が決まる



PAZとUPZでは、防災対策が異なります!

PAZ …… 放射性物質の環境放出前から、状況に応じて避難等の措置を予防的に講じる区域

UPZ …… 予防的な措置として屋内退避を行い、その後に空間放射線量が基準値を超える地域については一時移転等を行う区域

UPZ(緊急時防護措置を準備する区域)及び30km以遠では、空間放射線量の値で該当地域や防護措置が決まる

OIL(運用上の介入レベル)

放射性物質の環境放出後に、適切な防護措置を行うための判断基準。該当する地域は、緊急時モニタリングによる空間放射線量の値に基づき原子力災害対策本部(国)と県で協議して決定されます。



広域の空間放射線量を測定し、値の高い地域から順次避難。そのため、原子力発電所の事故時の避難は、津波等の一斉避難とは異なります。

放射性物質の環境放出

事故の発生

原子力発電所

※防護措置とは、被ばくを避けるためにとる行動のこと
※「放射線」を出す物質のことを「放射性物質」、「放射線」を出す能力のことを「放射能」といいます。
※シーベルト(Sv)は放射線を受けた時の体への影響の度合いを表す単位
シーベルトの1000分の1がミリシーベルト(mSv)、その1000分の1がマイクロシーベルト(μSv)、さらにその1000分の1がナノシーベルト(nSv)です。
※ベクレル(Bq)とは、放射能の強さを表す単位
※地域生産物とは、放出された放射性物質により汚染される可能性のある野外で生産された食品のこと